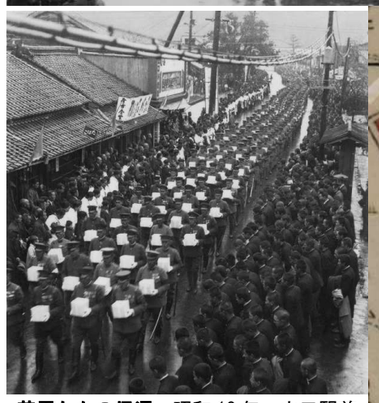
最新山口市街図

昭和 12 年（1937）（雨村明倫所蔵）

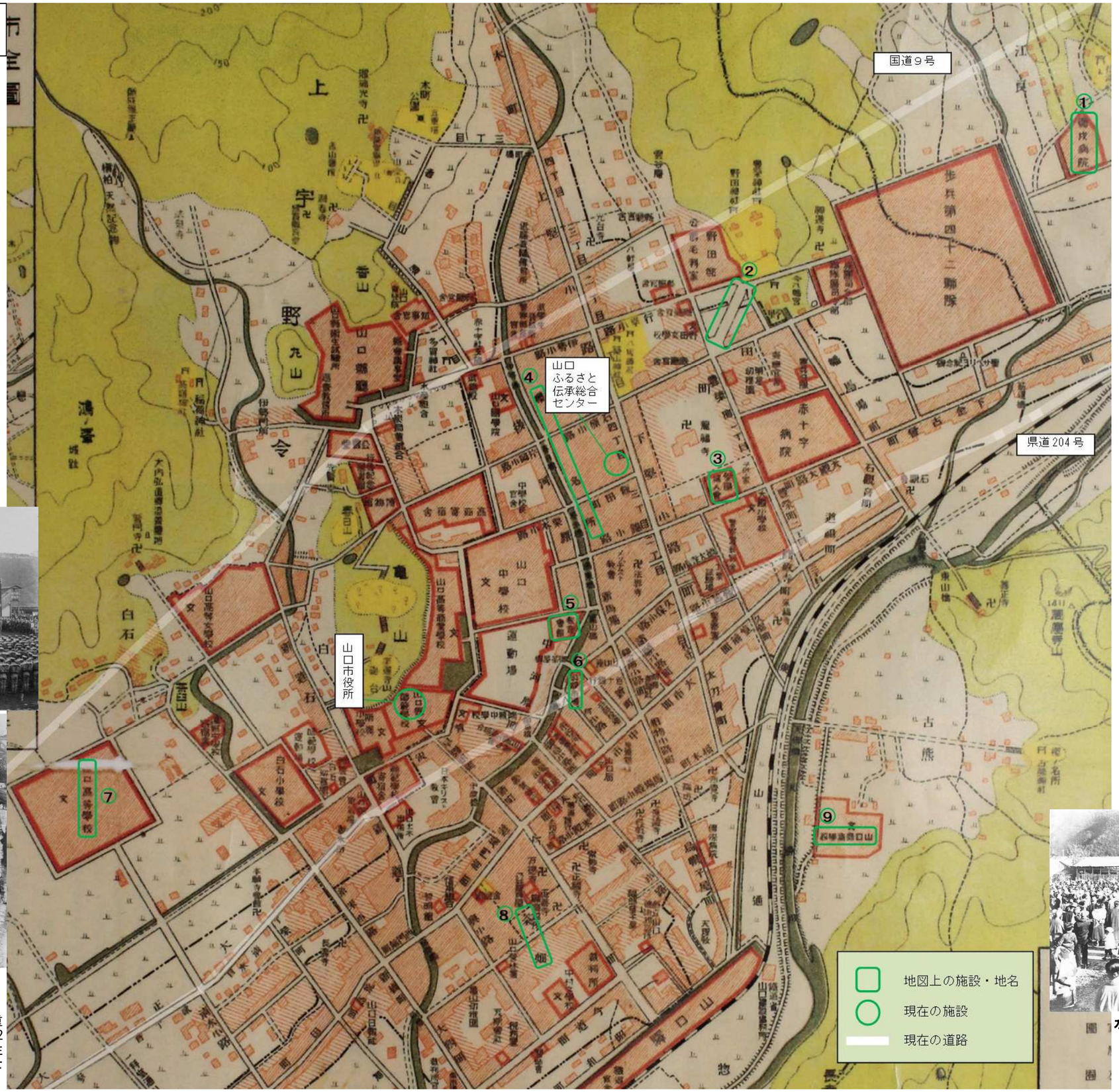
⑦（旧制）山口高等学校
旧山口高等学校が山口高等商業学校に改編された後、大学進学のための高等教育機関設立の要請が高まり、大正 8 年山口中学校内仮校舎に創設、翌年糸米に新築移転しました。同 11 年講堂（現記念館）が完成。昭和 11 年火事により本館が焼失し、翌年防火壁を設けた新校舎が落成しました。同 24 年山口大学文理学部となり、同 29 年後河原の新制山口高等学校（旧山口中学校）と敷地・校舎を交換、この地に新制山口高校が移転しました。

⑧茶畑
江戸時代にはここでお茶が栽培され、山口の特産だったといいます。

⑨山口商業学校
昭和 11 年財団法人山口商業学校が、山口高等商業学校鳳陽会館を仮校舎として開校、翌年古熊の新校舎（現大殿中学校の地）に移転した後市立に。戦時下の軍需生産増強の要請に伴い、同 19 年県立山口工業学校となります。同 21 年山口第二中学校となり、新学制により山口高等学校に統合されました。



英霊たちの帰還　昭和 12 年・山口駅前／駅通り（雨村明倫所蔵）
昭和 12 年 7 月日中戦争が勃発し、動員命令が下され出征、中国大陸で激戦を重ね、多くの戦死者を出しました。同年 12 月、山口駅に到着した大場部隊 600 余柱の英霊の遺骨とともに、四十二連隊兵士たちの長い列が兵営に向かいます。



①衛戍（えいじゅ）病院
陸軍病院。「衛戍」とは軍隊が一つの地に永く駐屯すること。歩兵第四十二連隊は明治 30 年に山口に移駐、同年病院も創立されたものと思われます。

②野田神社参道
昭和 11 年、県・市を挙げて王政復古（明治維新）70 年記念事業が行われました。野田神社では毛利元徳を祭神とする芳宜園（はぎその）神社が配祀されるとともに、新参道を造修、元徳の長男元昭により参道横に能楽堂が移転改築・奉納されました。参道は昭和 13 年竣工。同 43 年市道新設に伴い参道等を野田学園運動場として譲渡。孤立した能楽堂は平成 3 年現在地に移されました。

③愛国婦人会
明治 34 年北清事変の際、東京で慰問活動等を目的に発足、山口でも結成されました。社会事業にも貢献しますが、日中戦争勃発後は軍事援護活動が推進されました。

④桜名所
大正 4 年山口町でも大正天皇即位式奉祝行事が盛大に催されました。後河原では記念樹として、一の坂川両岸の柳の老樹の間々に約 180 本のソメイヨシノを植えました。昭和になると「後河原の桜」として知られるほどの名所に。

⑤教育会館
御大典記念として昭和 5 年旧県立図書館跡に落成。会館食堂の「みかど食堂」は格式の高いレストランとして親しまれました。同 58 年教育会館は大手町に新築移転しました。

⑥公設市場
第一次世界大戦後の物価高騰に対する生活安定策として大正 7 年町設青物市場を新丁に開設。山口町のほか周辺 5 カ村より生産物を持ち寄り販売され、当初は日曜だけの開設でしたが同 13 年常設市場を開設、盛況を呈しました。

水道開始祝いの余興　昭和 10 年・山口駅前（山口市歴史民俗資料館蔵）

古地図シリーズ⑨